



ツヤあり

- 耐磨耗性
- 耐ガソリン性
- 耐水性

標準塗り面積(2回塗り)

4.0~6.0㎡
タタミ2.4~3.6枚分

クリヤ(1回塗り)

6.0~8.0㎡
タタミ3.6~4.8枚分

乾燥時間

夏期/30分~1時間
冬期/2~3時間

塗り重ねの目安

夏期/2時間以上
冬期/6時間以上

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

塗りやすいときは
水
(5%以内)
でうすめて下さい

個性的なガレージの床を演出する

水性 ガレージカラー

コンクリート・アスファルト床用塗料



無機質なガレージを
手軽にカラフルに

塗膜が硬く磨耗に強い

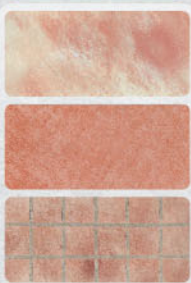
本品の下塗りには必ずアサヒベン強浸透性水性シーラー
またはアサヒ油性シーラーをご使用下さい。

WATER PAINT GARAGE COLOR

※写真はテラコッタ色で塗装したイメージです。

塗り方次第で
仕上がり色々!

2色使用例



※2色を塗り重ねて柄を出しています

0.7L

注意書きをよく読んでから使用して下さい。

●この容器は水を加えてかき混ぜられるよう、多少大雑に作っております。
●表示のある色ツヤおよび容器の中の塗料の色は、乾いてからの塗料の色と多少異なることがあります。
●鉛化合物は一切使用しておりません。

商品名 水性ガレージカラー

品名 合成樹脂塗料(水系)

成分 合成樹脂(アクリル)、顔料(クリヤは除く)、水

特長

- ガレージやベランダなどの床に手軽に塗れる水性塗料で、美しいツヤに仕上がります。
- 特殊なアクリルエマルジョンにより耐磨耗性、耐ガソリン性、耐水性などの耐久性に優れています。
- 塗り方をアレンジすることによって、デザイン性に優れた仕上がりにすることができます。

用途

- ガレージ、玄関、ベランダ、テラスなどのコンクリートやアスファルトの床の美化、防塵、簡易防水(アスファルトには、シーラーを塗装せずに塗ります)
- フォークリフトなどの重車車両が通るような場所には適しません。絶えず水がかかったり水につかるところやいつも濡れているところには適しません。
- クリヤは保護用上塗り塗料です。単独でのご使用は避けて下さい。

塗装方法

- ① はがれかかった古い塗膜は、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して充分に取り除きます。
●ひび割れや穴などは、あらかじめセメントやコーキング材などで補修しておきます。
- ② 塗る面の汚れ・ホコリ・砂・コンクリートのアク・カビなどを取り水洗いしてから充分に乾かします。油分はペイント用スポンジで拭き、よく落とします。
- ③ 塗料が乾いては困るところは、あらかじめマスキングテープなどでおきます。
- ④ 塗膜のフクレ・ハガレ防止のため、右の下地処理の注意にしたがって下地処理を行います。
- ⑤ フタに手をそえて、フタと容器の間にマイナスドライバーなどを差し込んで開け、棒などで塗料を底から充分にかき混ぜて均一にします。
●塗料の粘度が高く塗りにくいときは、水で少し(5%以内)うすめます。
- ⑥ コーナーや塗りにくいところは先にすじいバケやミニコテバで塗っておきます。広いところは、ローラーバケ・コテバケ・平バケなどを使うと、速く、楽に塗ることができます。
●模様などのデザインをつける場合は、塗料を厚く塗りすぎないようにして下さい。
●塗装した面が平らでない場合は、さらにクリヤを上塗りすることをおすすめします。
- ⑦ 1回塗りの面が充分に乾いてから、必ず2回塗りを行います。(クリヤを除く)
●マスキングテープは、塗料が手につかなくなったらはがします。
※表記の乾燥時間は半硬化(指で軽くこすって跡が残らない状態)の時間です。

用具の手入れ方法

塗料が乾かないうちに、水か湯で洗って下さい。

保管上の注意

- ① 幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食したずらをしないように注意して下さい。
- ② 直射日光や火気のある場所、-5℃以下になる場所、自動車内などの高温になる場所、容器がさびやすいところには置かないで下さい。
- ③ 残った塗料はしっかりとフタをしめて保管し、できるだけ早く使い切して下さい。

取扱い上の注意

- ① 表示の用途以外に使用しないで下さい。
- ② 体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感な人は使用しないで下さい。
- ③ 目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また誤飲しないよう注意して取扱って下さい。
- ④ 塗装中に乾燥中とも換気をよくし、その後も塗料の臭いがなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。
- ⑤ 塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。
- ⑥ 塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。
- ⑦ 塗装後6時間以内に結露したり、雨がかかるとハガレたり、塗膜が溶解する場合があります。
- ⑧ ⑦すべり止め効果を持たせたいときは、別売りの「すべり止め材」を塗料に混合し、よくかき混ぜて均一にしてから塗って下さい。
- ⑨ あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、色・乾燥性・下地への影響・密着性などを確かめてから塗装して下さい。
- ⑩ シリコン系・フッ素系・その他特殊防水処理をした面や、強化コンクリート・コーキング材・シーリング材の一部のものには、塗料が密着しないことがあります。
- ⑪ また、特殊床材や古い塗膜上に塗装する場合、ベタつきが出る場合があります。
- ⑫ 表示の色・ツヤは実際のものとは異なる場合があります。
- ⑬ 下地を充分に乾燥させないと、水分の影響で乾燥が遅れたり、塗膜にふくれを生じることがあります。
- ⑭ 塗るときおよび塗った塗料が乾くまでの間も、5℃以下にならないような時間に塗って下さい。
- ⑮ 塗り重ねるときは、夏期は2時間以上、冬期は6時間以上乾かしてから塗って下さい。
- ⑯ 歩行して、重いものを置くときは、塗装後1日以上、車を入れるときは3日以上乾燥させて下さい。
- ⑰ 塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。
- ⑱ 容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。
- ⑲ やむをえず塗料を捨てるときは、水性・油性兼用塗料固化剤で固化するか、新聞紙などに塗り広げ、乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。
- ⑳ 容器を落下させると、中身が漏れることがありますので取扱いに注意して下さい。

下地処理の注意

塗膜のフクレ・ハガレ防止のため、以下の処理をして下さい。

- ① つるつるした面は、サンドペーパーで表面を荒らしてから塗って下さい。
- ② 未塗装のコンクリートやモルタル面に塗るときは、必ずアサヒベン強浸透性水性シーラーまたはアサヒ油性シーラーを2回下塗りして下さい。
- ③ シーラーの吸い込みが多いときは、繰り返し重ねて下さい。
- ④ アスファルト面に塗るときは、シーラーを下塗りせずに直接塗装します。
- ⑤ 新しいコンクリートやモルタル面に塗る場合は、施工後1ヶ月以上経ってから行い、必ずアサヒベン強浸透性水性シーラーまたはアサヒ油性シーラーを2回下塗りして下さい。

危険



- 強い眼刺激
- アレルギー性皮膚反応のおそれ
- 臓器の障害
- 水生生物に毒性

救急処置

- 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。

株式会社 アサヒペン

大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp

お客様相談室
☎06-6934-0300

日本製
01-1601